

「世界てんかんの日2026」記念イベント 3年ぶりに2会場で実施しました。



※「世界てんかんの日」は、世界で取り組むオフィシャルな活動です。
民間の草の根運動である3月26日のPurple Day(パープルデー)とも、今後連携を検討しています。

国際てんかん協会(IBE)と国際抗てんかん連盟(ILAE)が2月の第2月曜日に定めた「世界てんかんの日(IED)」(今年は2月9日)を記念し、3年ぶりの対面でのイベントを東京・豊島区のあるすぽっとで開催しました。この事業は、当協会と日本てんかん学会の共催で企画・実施し、厚生労働省に加えて、てんかん治療研究振興財団、全国てんかんセンター協議会が後援する、国内の主要なてんかん関連全国組織が関わる事業です(あわせて、今回は開催地である豊島区の協力も受けました)。

また、昨年と同様に、(株)TOKYO TOWERの賛同を得て、東京タワー内の特設イベントスペース(フットタウン2F特設コーナー)で、てんかんの正しい知識を知ってもらうための啓発活動を行いました。雪が降り寒い日もあり、来場者が少ない日もありましたが、協会のXの配信などを見て来てくれた皆さんと話すこともでき、新しい運動の輪が広がりました。

【記念講演会】

- 日時: 2月11日(水・祝) 14:00 ~ 16:00
- 会場: あるすぽっと(東京都豊島区)
- プログラム(敬称略)

◆開会あいさつ

白石 秀明 一般社団法人日本てんかん学会 理事長

◆祝 辞

厚生労働大臣 上野 賢一郎

◆行政報告「厚生労働省におけるてんかん対策～てんかん地域診療連携体制整備事業を中心に～」

星 克憲 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部
精神・障害保健課心の健康支援室 室長

◆医療講演「てんかん発作への対応(介助・レスキュー薬の使用)」

白石 秀明 日本てんかん学会理事長/
獨協医科大学小児科学 教授

◆医療講演「認知症とてんかん」

重藤 寛史 日本てんかん学会理事/
九州大学脳神経内科 教授

◆てんかんのある当事者からのメッセージ

「てんかんとともに生きる」澤村喬平／てんかんのある当事者(日本てんかん協会『波』編集委員、国際委員)

◆閉会あいさつ

梅本 里美 公益社団法人日本てんかん協会 会長

当日は、上野賢一郎厚生労働大臣のあいさつの後、厚生労働省からてんかん対策についての行政報告がありました。続いて2名の医師による医療講演が行われたのち、当事者からのメッセージがあり、3年ぶりの対面による市民講座が終了しました。



市民公開講座



▶ 祝辞・講演のスライド資料などは協会ホームページから見るすることができます。

【東京タワー啓発イベント】



▲東京タワーとあかりちゃん

東京タワーフットタウン2F特設コーナー(イベントスペース)にて2月7日(日)～9日(月)の3日間10:30～15:00まで啓発活動を行いました。イベントスペースでは、てんかん運動マスコット

キャラクターあかりちゃんとの記念撮影、てんかんに関するパネル展示、資料提供や記念品の配布などを行い、雪の中ではありませんでしたが、用意した風船を手にした子どもたちの笑顔が印象的でした。多くのボランティアの皆さんのご協力のもと、たく

▶ あかりちゃんと写真を撮ろう！



▲あかりちゃんのぬりえ

さんの方がブースに立ち寄っていただきました。啓発イベントにご協力いただきました皆さんにはこの場を借りて改めてお礼申し上げます。

5,000万歩キャンペーン ～ 50 Million Steps for Epilepsy

世界中に5千万人と推定されるてんかんのある人たちを応援し、決して一人ではない、周りで理解している人がこんなにもいるというアピールと社会啓発を目的に、全世界で5千万歩を目指して歩くキャンペーンです。今年は1月5日～2月9日(世界てんかんの日)の36日間で行われました。

キャンペーンには世界中から多くの参加があり、なんと2億3,300万歩を達成することができました!日本からも参加して下さった皆さん、本当にありがとうございました!

